

輝く笑顔だより

R7. 10. 10 文責 副校長 横田 和重

命を大切に、思いやりのある北諫早っ子
きたいに応えます
いつも笑顔で挨拶します
さいごまで あきらめません
ばやね 早起き朝ごはんて生活します
やくそくを守ります
いのちを大切にします。
【北諫早小学校 こころの教育推進会議】

芸術の秋～音楽会の練習～

秋風を肌に感じながら、学校生活を過ごすことができるようになってきました。そんな中、4年生は音楽会に向けての練習がいよいよ始まりました。練習している体育館からは、まだ照れくさそうな歌声や、真剣な表情でリコーダーに向き合う姿が見られ、子どもたちの成長を感じる毎日です。これから本番に向けて、仲間と心をつなげる経験を通して、さらに素敵な姿を見せてくれることでしょう。



社会体育活動と学校生活の両立について

近年、地域のスポーツクラブや社会体育に積極的に参加する子どもたちが増え、健康的な体力づくりや挨拶、ルール順守など社会性の育成に大きな効果が見られています。ところが、土日などに行われる試合や練習の翌日に、学校を欠席・遅刻するケースも見受けられるようになりました。



学校としての考え方

学校は、日々の授業や集団生活の中で学力や社会性を育てる大切な場です。

そのため、どれほど大きな大会や活動であっても、学校生活との両立が基本となります。

社会体育活動を理由に頻繁な欠席や遅刻が続くと、学習面・生活面の遅れだけでなく、本人のリズムや友人関係にも影響が出ることがあります。

保護者の皆様へお願い

- ・社会体育活動後も、できる限り通常どおり登校できるよう体調管理・生活リズムの調整をお願いします。
- ・やむを得ず遅刻・欠席する場合は、事前連絡と理由をお知らせください。
- ・学校行事がある際には、優先順位の整理と事前相談をお願いします。

いじめに関するアンケートや面談を行っています

いじめに関するアンケート調査を10月6日から行い、今後、面談等を10月内で行っていきます。昨年度本校でもSNSをめぐる子どもたちのトラブルや、学校生活の中で子どもが心を痛めることが起こっています。先日、生活指導主任から子どもたちに対して「いじめは絶対に許されないこと」を子どもたちに訴えました。また、各学級でも「いじめを見たら、止める勇気をみんながもつこと」など傍観者にならないことも指導しました。



子どもたちのトラブルやいじめについては、保護者の方の目配り気配りも必要です。学校だよりNO.2でもお伝えしましたが、以下の2点については、もう一度家庭の中で意識していただければと思います。

- コミュニケーションを大切に、日々の様子に変化があった場合にはすぐに学校にお知らせください。また、学校やその他の機関に対し積極的に子どもの様子や友達関係を尋ねるなど状況の把握をお願いします。
- いじめを含む善悪の判断については、常日頃からお子さんに言い聞かせるようにしてください。併せて、たくさんの良いところを認め、称賛しながらお子さんの自己肯定感を育んでください。